

前 橋 文 化

比刀祢

68号

創立40周年記念号



前橋市文化協会創立40周年記念号 — も く じ —

巻頭言

前橋市文化協会・創立40周年を迎えて 前橋市文化協会 会長 清水 和夫 1

お祝いのことば

創立40周年を祝して 前橋市長 山本 龍 2

創立40周年を記念して 前橋市議会 議長 横山 勝彦 2

前橋市文化協会創立40周年記念誌の発行に寄せて 群馬県文化協会連合会 会長 塚越 応鐘 3

前橋市文化協会創立40周年に寄せて 前橋市教育委員会 教育長 吉川 真由美 3

文化活動、ここが魅力! 4

対 談

「創立40周年記念のつどいの開催とこれからの文化協会の役割」 8

創立40周年記念のつどい

準備の足跡 12

新たな開催に向けて 14

前橋市文化協会創立31年〜40年のあゆみ 16

第44回前橋市民芸術文化祭 17

ふれあい体験事業

華道／邦楽／大正琴／日本舞踊／吟剣詩舞道／八木節／俳句

令和4年度ふれあい体験教室開催予定一覧 19

☆令和3年度役員等名簿 23

☆令和3年度賛助会員名簿 24

☆令和4年度第45回前橋市民芸術文化祭開催予定一覧 25

☆令和3年度第56回前橋市民展覧会入賞者一覧 26

☆お知らせ・新入会員紹介・編集後記・比刀衿編集委員 27

「創立40周年記念のつどい」延期について

令和4年1月29日（土）・30日（日）、昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）において予定していた前橋市文化協会「創立40周年記念のつどい」は、急激な新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、延期とさせていただきます。これまで、この「創立40周年記念のつどい」の開催に向けて、実行委員会を中心に様々な企画・準備を進めてまいりました。これを礎として新たに仕切り直し、多くの皆様とともに、文化協会創立40周年をお祝いできればと思います。新たな日程は令和5年3月25日（土）〜27日（月）、昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）を計画しています。皆様のご来場を心からお待ちしております。

「比刀衿」のいわれ

「都よりかへりくるまの里人は、ひとねがはをば渡らざらなむ」（夫木和歌抄）今の利根川の流れに対し、元の流れすなわち、今の広瀬川を「比刀衿川」といった。この流れは前橋文化の源流ともいえよう。いよいよの発展を願ひ名付ける。

（昭和57年3月1日発行「比刀衿」創刊号より）

前橋市文化協会は、昭和56年（1981年）の創立から数えて40周年を迎えます。

本誌「比刀祢」も創刊以来40年間にわたり継続して刊行されています。

また、「前橋市民文化会館」は昭和57年（1982年）に竣工

し、以来、前橋

市の芸術文化活

動の拠点としての役割を担って

きています。

創立以来40年間にわたり、精力的に芸術文化活動に取り組み

れてきた会員の皆様、それを支える市当局

や市議会、文化協会の活動

に協賛する多くの方々の手厚く、温かい支援に対して、

改めて心からの感謝と御礼を申し上げます。

前橋市文化協会にとって

令和2年から3年にかけて

新型コロナウイルス感染へ

の対応のため多くの活動や

展示舞台発表の場が失われ、

厳しいものでありました。

しかし、会員の文化芸術

への熱い思いと姿勢は少し

の新たなスタートとして多

くの会員や市民の皆様の参

加を期待申し上げます。

前橋市文化協会の最近の

10年間の事業を振り返って

みますと平成24年に前橋市

制120周年事業として臨

また、大きな変革を伴つ

た事業としては、平成30年

に前橋市民文化会館の2階

に「前橋市文化協会事務局」

を開設し、事務局長以下3

人体制の新たな運営組織を

スタートさせました。

前橋市文化協会は、今後も

一つ一つの課題に果敢に取り

組み、芸術文化活動に親し

むことの楽しさや人と人と

の交流の大切さを年代を超

えて多くの市民の皆様に伝

えられるよう努めてまいり

ます。

前橋市は、令

和3年に前橋市

文化振興基本方

針を策定し、こ

れからの前橋の

郷土に愛着を感

じ、地域の内外

に誇れる前橋の

文化の継承と創

造を視点とした

まちづくりを目

指しています。前橋市文化

協会の運営と活動は基本方

針の実践の場であります。

創立40周年を迎え、今後な

お一層、文化をつなぎ・広

げる芸術文化活動にまい進

してまいります。

前橋市文化協会・創立40周年を迎えて



前橋市文化協会 会長 清水 和夫

も変わってはいません。

令和3年度に開催する予

定であった「創立40周年記

念のつどい」は、新型コロナ

感染に伴う安全対策のため、

来年度に延期されましたが、

これからの前橋の文化芸術

江閣を会場に始められた

「まえばし和の文化の集い」

があります。平成29年には、

臨江閣改修記念事業のイベ

ントとして開催し、多くの

市民の皆さんの参加と賛同

を得ることができました。

現在、急速に進む少子高

齢化やデジタル化に伴う情

報化社会の進展、新型コロナ

ウイルス感染症に対応し

た生活様式への配慮など、

芸術文化活動を進める上で

の多様な課題があります。



創立40周年を祝して

前橋市長 山本 龍

このたび、前橋市文化協会が創立40周年を迎えられましたことは誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

前橋市文化協会の皆様には、昭和56年の創立以来長きにわたり前橋市民芸術文化祭やふれあい体験等を通じて、本市の芸術文化振興に多大なご貢献をいただいております。歴代の会長をはじめ会員皆様に対しまして、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、急速に進む少子高齢化やデジタル化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への移行など私たちの暮らしが著しく変化している昨今において、心の豊かさや潤いの源となり安らぎをもたらす芸術文化活動への期待は大きいものがあります。文化に親しむ機会は大

人から子どもまで幅広い世代にとっての大きな喜びであり、生活に一層の希望をもたらすエネルギーとなるでしょう。

本年、市制施行130周年という節目の年を迎える本市といたしましても、昨年3月に策定いたしました「前橋市文化振興基本方針」の理念の実現に向けて、市民と協働し郷土に愛着を感じ地域の内外に誇れる文化の振興になお一層努めてまいります。

こうした中、貴協会の果たす役割は大変重要であり、皆様には創立40周年をひとつの契機として、新たな芸術文化の発展や交流にかなげてくださいようご期待を申し上げます。

結びに、前橋市文化協会のますますのご発展と、皆様のさらなるご活躍、ご健勝を心からご祈念申し上げます。お祝いのことばといたします。



創立40周年を記念して

前橋市議会 議長 横山 勝彦

前橋市文化協会が創立40周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。市議会を代表して心からお祝いを申し上げます。

これもひとえに、歴代の会長さんをはじめ、役員各位、そして会員の皆様方の文化事業に対するたゆみない熱意とご尽力の賜物であり、心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

さて、昨今のコロナ禍においては、芸術文化活動においても様々な制限が生じ困難な時期であります。その中でも日々研鑽を重ねられ、地域で培われてきた文化の継承・発展のためご活動されております皆様の熱意や思いは、活力あるまちづくりの原動力になるものと確信している次第であります。

毎年、皆様が日頃の練習の成果を発表される「前橋市民芸術文化祭」は、前橋市文化協会主催のも

と今年で45回目を数えます。また、市制120周年に始まりました『和の文化の集い』は、本年の市制130周年とともに第10回を迎えると伺っております。このよう

に、市民が前橋の文化に親しむ機会の創出や、ふれあい体験事業をはじめとした幅広い世代に向けた活動は、前橋の芸術文化の推進においてたいへん有意義であり、生活に一層の豊かさをもたらすものと期待しております。

市議会といたしましても、芸術文化活動に携わる皆様、活動のしやすい環境づくりを進めていくために、今後とも積極的なご支援させていただく所存であります。

結びに、これまで様々な活動を通して、本市の芸術文化を守り育ててこられた前橋市文化協会が、今後ますます発展されますとともに、会員の皆様のご健勝で活躍されますことを祈念して、お祝いの言葉といたします。



前橋市文化協会創立40周年記念誌の発行に寄せて

群馬県文化協会連合会 会長 塚越 応鐘

このたび、前橋市文化協会創立40周年記念誌の発行に当たり、一言お祝い申し上げます。

令和を迎えてまもなく新型コロナウイルス感染症が席巻し、多くの人々が先の見えない不安を抱えながら日々過ごしております。こうした中で一層、人と人、心と心の繋がりの大切さが実感され、皆様とともにこの難局を乗り越えていかなければならないと強く念じております。

現在、県下の文化協会には2千4百余りの団体が加盟し、4万9千人超の会員が、地域文化活動の中心として御活躍いただいております。文化は日々の生活にゆとりと潤いをもたらし、心豊かに過ごす上で欠かせないものと多くの県民が関心を高める中、鑑賞だけでなく創作活動も活発になっており、地域に密着した文化協会の果たす役割はますます重要になってまいりました。

当連合会では、広域にわたる文化活動を促進するため、平成9年度から「群馬県地域文化祭」、平成15年度からは「地域文化フェスティバル」を開催しておりますが、お陰様で、地域の特色を生かした

個性豊かな文化の創造や、地域文化の振興・交流の一助となっております。未来を展望するとき、地道な日々の精進が絶え間なく続くことに、非常に心強いものを感じているところです。

前橋市には、近代日本の面影を残す文化財が残っています。初代群馬県令「榎取素彦」の呼び掛けで建てられた迎賓館「臨江閣」は、平成30年8月に国の重要文化財に指定されました。また、日本百名山で、古くから郷土の人々に親しまれてきた名山「赤城山」も、さまざまな芸術作品に取り上げられています。なお、地域に伝わる祭り行事は今なお人々の暮らしの中に息づいています。素晴らしい環境の下で、さらに皆様の文化芸術活動が発展し、伝統文化が継承されてゆけば、より一層前橋の魅力が高まると思います。

結びに、前橋市文化協会会員の皆様がこの創立40周年を機に、これまで成果の上に立ち、新たな創作活動を積極的に取り組まれ、前橋市の文化の振興に大きく寄与されますことを御祈念申し上げます。してお祝いの言葉といたします。



前橋市文化協会創立40周年に寄せて

前橋市教育委員会 教育長 吉川 真由美

前橋市文化協会創立40周年を心からお祝い申し上げます。40年の長きにわたり、会員相互に技術や感性を磨き、切磋琢磨して本市の芸術文化の根幹を担い、時には困難を乗り越え、今日まで活動されてきたことは、誠に御同慶の至りです。

平成30年4月には、前橋市文化協会の事務局が、昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）の二階に開設され、事務局の体制も新たにスタートを切りました。近年は、インターネットのHPやSNSを活用した情報発信も強化され、時代の要請に応じながら、本市の芸術文化振興の中心的役割を果たされております。さらにICT等の新しい技術革新を効果的に取り入れ、これまで文化協会に馴染みのなかった層にも、気軽に活動に参加していただける機会が増えたなら、大変嬉しく思います。

また、近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今まで通りの活動をそのまま続けることが難しく、多くの苦労があったことと思います。まだ終息の目途が立たない中で、私たちはウィズコロナ時代を新たな生活様式を前提に考えなければなりません。これは、試練であるとともに、今までのある方を見直し、新しい取組を始めるチャンスでもあると考えるべきかもしれません。教育委員会といたしましても、文化協会の皆様と連携を深めながら、本市の芸術文化活動の普及、発展に、尽くしてまいる所存でありますので、引き続きお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、前橋市文化協会の益々のご発展、会員の皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

部 会

コラボレーションとなります。
としました。
を味わってください。

歴 史 部 会

部会は、前橋市内で歴史に関係する学習団体で構成されています。各学習団体の情報交換で学習内容の向上を図ることを目標としています。市民芸術文化祭に際して年一回歴史講演会を開催しています。

音 楽 部 会

音楽部会は、前橋市民音楽連盟加盟団体で構成されており、春は音楽連盟主催の「前橋市民音楽祭」を開催。秋季は「市民芸術文化祭」に参加し、加盟団体による器楽演奏や混声合唱・女声合唱を演奏し、音楽文化の素晴らしさを市民の皆様と堪能する場を設けています。

大 正 琴 部 会

大正琴は、日本で発明され大正元年、全国で一斉に発売されました。哀愁ある音色は、多くの人々の心をとらえ爆発的人気を得たそうです。鍵盤があるので、音を正確に出すことができ、初心者でも演奏可能です。前橋市文化協会員として各会員と交流をはかり、発展させていきたいと思っています。

広げ深めよう 化の輪！

ここが魅力！

華 道 部 会

前橋いけばな作家協会は、70年以上の歴史を持ち、現在13流派の会員で構成し、前橋市文化協会の華道部会として前橋市民芸術文化祭・和の文化の集い・ふれあい体験事業等への参加。前橋駅には1年を通して飾り花を展示。華道に興味のある方ご入会をお待ちしています。

俳 句 部 会

俳句短冊展

日頃の作品を作者の手で短冊に致しました。身の回りでの四季の移り変わりや実生活での体験を表現致しました。

郷 土 芸 能 部 会

前橋市郷土芸能連絡協議会は、郷土芸能を発掘・保存・伝承し、市民文化の高揚を図るため、昭和55年に発足しました。

神楽・獅子舞・囃子・古謡・語り物等の部会に分かれ、毎年郷土芸能大会を開催しています。

八 木 節 部 会

前橋八木節協会は、昭和56年に結成され、現在は八木節を愛する22の団体から成ります。各地区のお祭りや前橋まつり・市民芸術文化祭・元旦の実業団駅伝など各種イベントに参加し、八木節の振興と後継者育成を通じ明るく楽しく元気な前橋づくりを目指しています。

書道部会

創立40周年を迎えた当協会の歴史に心温まる思いと誇らしさを感じております。

記念展では、10支部の代表の先生方に出品を頂くことにしました。日頃より鍛錬を重ねておられる漢字、かな、前衛書、近代詩文書など多彩な作品で創立記念を祝いたいと思います。

邦楽

今回は、日本舞踊・詩吟との
“四季の彩”^{イロドリ}を共通の演目選び
日本人の心の内にある感性

バレエ部会

☆美の総合芸術☆ バレエ！

その魅力が多くの方へ伝わり、楽しんでいただける舞台を創る為に活動しています。

美術部会

美術部会は、もくめの会(仏像彫刻)・大胡陶芸クラブ(陶芸作品)・群馬美術家連盟(日本画、洋画、建築)の3団体、会員約100人の部会です。主な行事は、前橋市民芸術文化祭・美術部会主管の作品展を昌賢学園まえばしホールの大展示ホールで盛大に行っております。美術部会に入会希望の方は、☎027-283-2745 部会長山口までご連絡ください。

今こそつなぎ 前橋文

文化活動、

茶道部会

茶道は一碗の茶を点て、客をもてなすため、部会9流派のイベントを休止中です。令和4年度再開の予定では、春に「前橋市民芸術文化祭」参加の大茶会、秋に「まえばし和の文化の集い」参加茶席を臨江閣で、また、小中学生対象の「ふれあい教室」等の運びです。

映像部会

映像作品づくりは、「おや・まあ・なるほど」をモットーに。素材の設定・構成・撮影・編集・BGM・語りにこだわり、見て楽しく心に残る作品づくりに挑戦しています。

写真部会

写真部会は、7団体の支部により構成され、各支部独自の活動をしている。

人生100年時代と言われる昨今、写真を撮るという事は、楽しく健康寿命を延ばす上でも、心技体を鍛える上でも、カメラさえあれば老若男女問わず誰でも出来る芸術活動だと考えている。